

第6章

都市づくりの町民のおもい



湖水まつり

第6章のポイント

本章では、「箱根町第6次総合計画」策定の基礎資料である町民アンケートと延べ13回実施された地域別まちづくりワークショップでの町民の都市づくりへのおもいをまとめています。

第6章インデックス



箱根神社の安産杉

1 町民のおもい

P111

2 地域別まちづくりワークショップ
提言事項

P117

1 町民のおもい



姥子石仏群

町民アンケートにおける箱根町へのおもい

本町では、平成27年1月に「箱根町第6次総合計画」策定の基礎資料とするために、町民1,500人を対象にしたアンケート調査を実施しました。調査事項は、今後の町政に生かすために、まちづくりの各分野において質問を設定し、町施策への満足度・重要度や優先的に行う施策などのご意見をお聞きしました。

以下は、町民の定住意向と今後の施策の優先度について抜粋したものです。

1 定住意向

問1 あなたは、今後も現在の場所に住み続けたいですか。

基礎分析

「住み続けたい」が48.4%と最も多く、次いで「町外に移りたい」が28.4%と続いています。

また、「住み続けたい」理由としては、「緑やきれいな空気など良好な自然環境があるから」が78.5%と最も多くなっています。

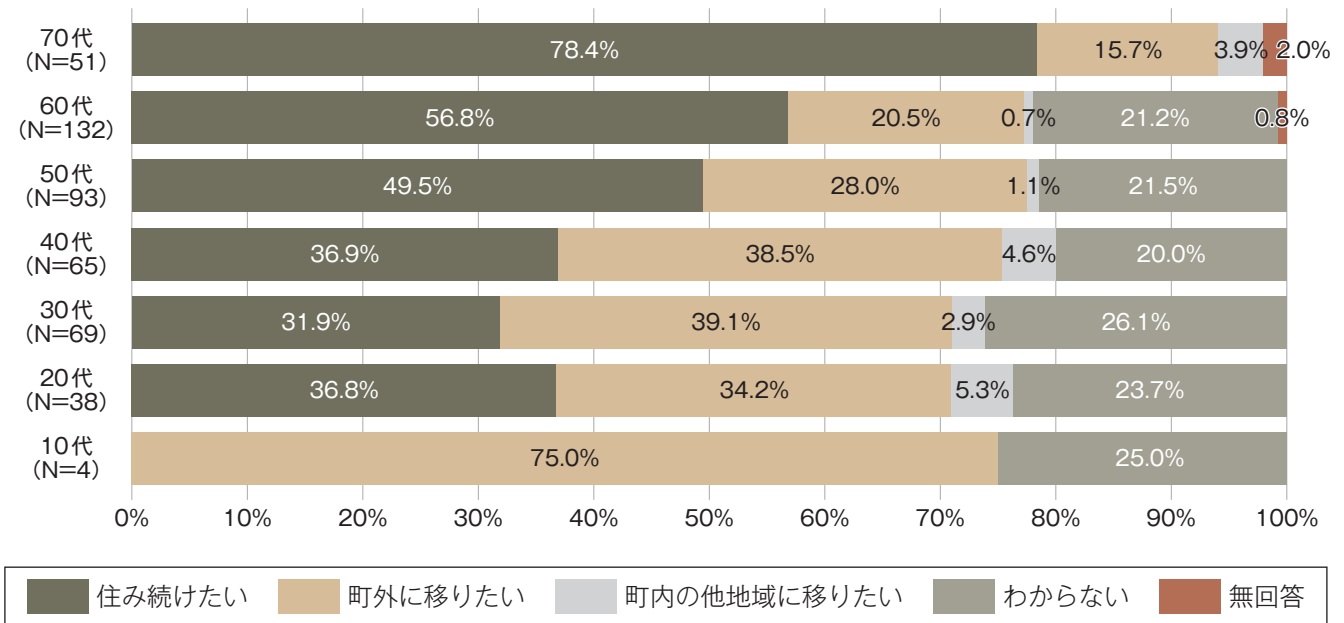
No.	選択項目	回答数	割合
1	住み続けたい	223	48.4%
2	町外に移りたい	131	28.4%
3	町内の他地域に移りたい	11	2.4%
4	わからない	93	20.2%
	無回答	3	0.7%
全体		461	100.0%



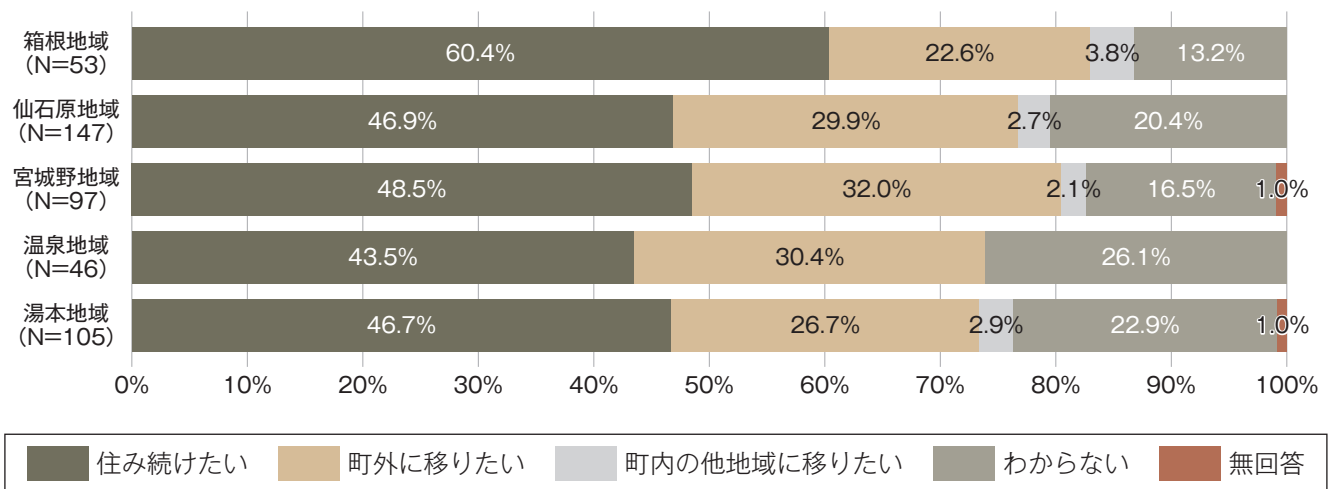
早川堤

クロス分析*1

年齢別にみると、「住み続けたい」は、70代で最も高く、10代で最も低くなっており、子育て世代である20代から40代は40%以下と10代以外のほかの世代と比べ低くなっています。



地域別にみると、「住み続けたい」は、箱根地域でやや高くなっています。



付問2 問1で「②町外に移りたい」と答えた方に質問です。
町外に移りたい理由はなんですか。

基礎分析

「町外に移りたい」と回答した28.4% (131人)の方に理由を聞いたところ、「日常の買い物が不便だから」が80.9%と最も多く、次いで「町内の医療機関が十分でなく、通院が大変だから」が63.4%と続いており、第3位に「交通渋滞」や「子どもの教育環境」が続いています。

No.	選択項目	回答数	割合
1	子どもの教育環境が十分でないから	42	32.1%
2	働く場があまりないから	35	26.7%
3	日常の買い物が不便だから	106	80.9%
4	町内の医療機関が十分でなく、通院が大変だから	83	63.4%
5	町内に親しい仲間がないから	20	15.3%
6	交通渋滞が多いから	43	32.8%
7	行政サービスに不満があるから	36	27.5%
8	その他	33	25.2%
	無回答	0	0.0%
	非該当	330	
全体		131	100.0%

クロス分析

年齢別にみると、どの世代でも「日常の買い物が不便だから」が最も多くなっており、次いで「町内の医療機関が十分でなく、通院が大変だから」となっています。第3位は世代間で異なり、50代以上は「交通渋滞が多い」、30～40代の子育て世代では「子どもの教育環境が十分でないから」となっています。20代は「町内に親しい仲間がないから」となっています。

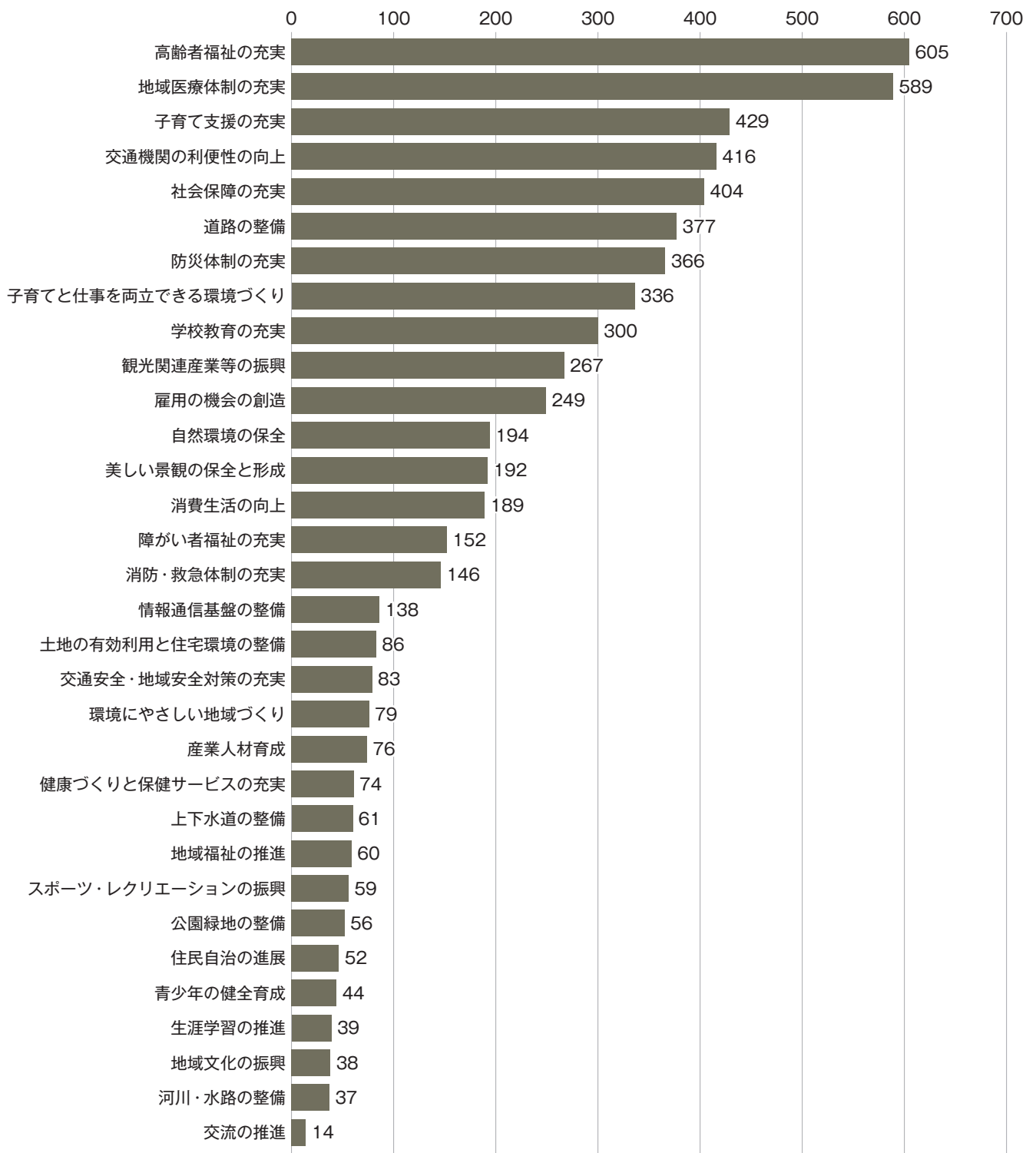
2 分野別のまちづくりについての優先度

「健康・福祉」、「子どもの教育・子育て支援」、「観光振興・産業育成」、「自然・環境・景観」、「生活基盤の整備と安心・安全な生活環境整備」、「地域社会」の6つの政策分野を32の施策分野に分け、今後の施策の優先度を聞きしました。

基礎分析

優先度の高い施策は、健康・福祉関係では「高齢者福祉の充実」、「社会保障の充実」、「地域医療体制の充実」、子どもの教育・子育て支援関係では「子育て支援の充実」、「学校教育の充実」、「子育てと仕事を両立できる環境づくり」、生活基盤の整備などの関係では「道路の整備」、「交通機関の利便性の向上」、「防災体制の充実」といった施策が特に高くなっています。

各施策の総得点（優先度）



3 観光振興と町民の生活について

① 生かすべき地域資源

「温泉」が最も多く、次いで「自然環境」が特に多くなっています。

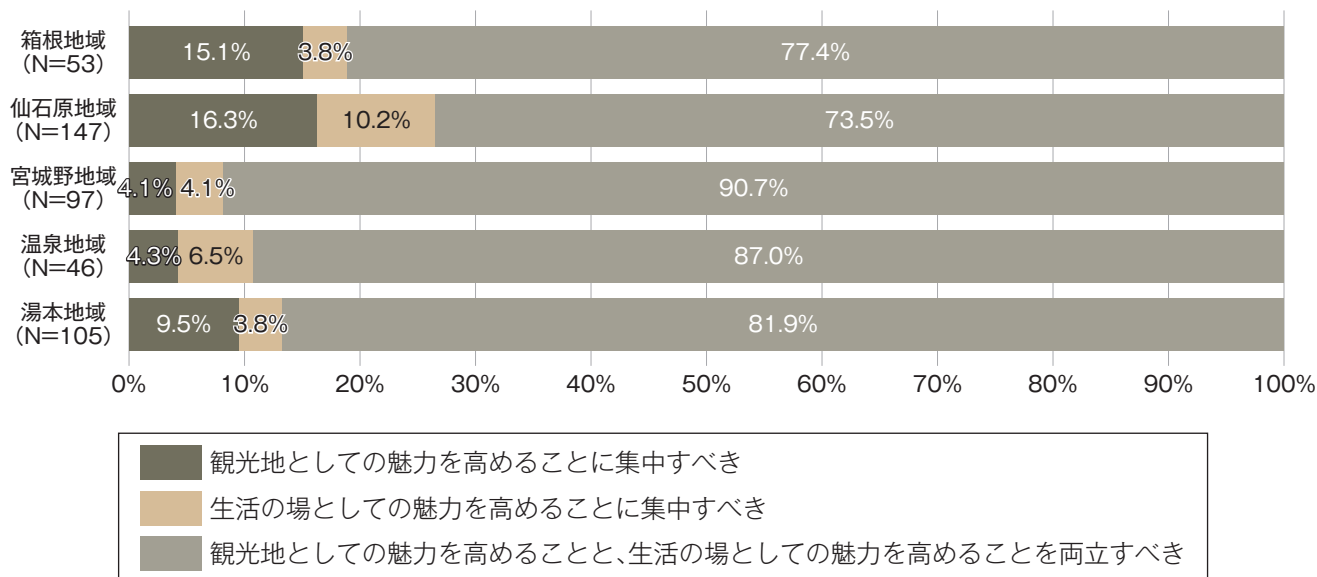
地域別にみると、どの地域でも「温泉」と「自然環境(富士山含む)」が多くなっていますが、宮城野地域では「企業の研修や保養地」、仙石原地域では「歴史・文化資源」が他地域に比べ多くなっています。

② 町民と観光客への注力度

「観光地としての魅力を高めることと、生活の場としての魅力を高めることを両立すべき」が80.5%と圧倒的に多く、次いで「観光地としての魅力を高めることに集中すべき」が10.6%、「生活の場としての魅力を高めることに集中すべき」が6.7%となっています。

No.	選択項目	回答数	割合
1	観光地としての魅力を高めることに集中すべき	49	10.6%
2	生活の場としての魅力を高めることに集中すべき	31	6.7%
3	観光地としての魅力を高めることと、生活の場としての魅力を高めることを両立すべき	371	80.5%
	無回答	10	2.2%
全体		461	100.0%

地域別では、箱根地域と仙石原地域で「観光地としての魅力を高めることに集中すべき」がやや高く、仙石原地域では「生活の場としての魅力を高めることに集中すべき」も他の地域より高くなっています。



地域別まちづくりワークショップにおける町の課題

本計画の策定にあたり、各地域において延べ13回にわたってワークショップを開催し、各地域の「特性」や「課題」そして将来像への提言などの意見を「地域別構想」としてまとめていますが、町全体に関わる課題等の意見もいただいております、以下の10の分野ごとにまとめました。

地域別まちづくりワークショップにおける町全体に関わる課題等

自然環境 <ul style="list-style-type: none"> ● 河川の水質浄化向上 ● 自然環境や生態系の保全と有害鳥獣の対策 ● 有害鳥獣の対策 ● 自然資源などの活用 	防災・防犯 <ul style="list-style-type: none"> ● 交通量の増加による交通安全対策 ● 災害に強いまちの形成 (建物の耐震化、観光客への対応など) ● 避難路の確保 ● 緊急輸送路の確保 ● 空き家の防犯対策 ● 治安対策
土地利用等 <ul style="list-style-type: none"> ● 若年層の定住促進 ● 若年層向け住宅の供給 ● 空き家の利活用 ● 子育て環境の形成 ● 生活必需店舗など(生鮮食料等)の確保 	観光 <ul style="list-style-type: none"> ● 自然、歴史、文化資源を生かした観光 ● 外国人観光客への対応 ● 快適な周遊ができる施設整備(徒歩環境の整備) ● 観光につながるイベント開発 ● 広域的な観光発信と誘客 ● 観光資源の発掘 ● リピーターの増進 ● 駐車場の確保 ● 街路灯の整備 ● 外国人に配慮した看板の設置
交通 <ul style="list-style-type: none"> ● 歩行者、観光客の安全確保のための歩道整備 ● 駐車場の整備 ● 渋滞の緩和 ● バスなど公共交通機関の利便性の向上 ● 狭あい道路対策 ● 適切な道路維持管理 	地域その他 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティ力の形成 ● 生活サービスの確保 ● 若年層の流出防止 ● 教育、医療環境の向上 ● 子育てしやすい生活環境の向上 ● 自治会運営の確保 ● 多世代間、観光客などとの交流 ● 高齢者にやさしい生活空間の整備 ● 少子高齢化への対策 ● 医療体制の確保 ● 人口減少対策 ● 若者達が住み続けられる職場の確保 ● 老人が住みやすいまちづくり ● 人にやさしいまちづくり ● 地域の絆を大切にしまちづくり ● 住み続けたいまちづくり ● 協働したまちづくり
公園・緑地 <ul style="list-style-type: none"> ● 現有公園、広場の有効活用 ● 遊具の設置 ● ポケットパーク*1の整備 ● 散策路の整備 	
下水道等 <ul style="list-style-type: none"> ● 継続した公共下水道の整備 ● 湖沼、河川の浄化 ● 水道の安定供給 	
公共施設 <ul style="list-style-type: none"> ● 子育て世代向け施設整備 ● 公共施設跡地の有効活用 ● 隣接地への公共施設整備 ● 利用料金の見直し(安価に) 	
景観 <ul style="list-style-type: none"> ● 継続的な景観の保全と形成 ● 観光地としての清潔感のある景観形成 ● 道路や歩道も含めた美しい景観形成 ● 環境美化対策 ● 地域にふさわしい景観形成 	

2 地域別まちづくり ワークショップ提言事項



策定検討委員会

湯本地域まちづくりワークショップメンバーの提言事項



将来像 『清流と湯のまち 心あふれる箱根の玄関口』

温泉地域まちづくりワークショップメンバーの提言事項



将来像 『近代日本の歴史が薫る 水と緑の温泉保養地』

宮城野地域まちづくりワークショップメンバーの提言事項



将来像 『多彩な自然と豊かな泉質 心を満たす緑風の里』

仙石原地域まちづくりワークショップメンバーの提言事項



将来像 『四季の自然を楽しむ いこいの高原リゾート』

箱根地域まちづくりワークショップメンバーの提言事項



将来像 『歴史と伝統文化が息づく 湖畔の交流空間』

第6章のまとめ

「箱根町第6次総合計画」策定時に行われた町民アンケートを踏まえ、町民の定住意向や分野別のまちづくりの優先度などについてまとめています。

また、地域別まちづくりワークショップで協議した各地域の課題や地域の特性・課題・目指す方向などの提言事項についてもまとめています。

1 町民アンケートでのおもい

- ①定住意向は約50%の町民が「住み続けたい」と回答しています。
- ②優先度の高いまちづくり施策は、「高齢者福祉の充実」、「社会保障の充実」、「地域医療体制の充実」、「子育て支援の充実」、「学校教育の充実」、「子育てと仕事を両立できる環境づくり」、「道路の整備」、「交通機関の利便性の向上」、「防災体制の充実」となっています。

2 地域別まちづくりワークショップ 提言事項

湯本、温泉、宮城野、仙石原、箱根の各地域においてまちづくりワークショップを開催し、「地域の特性」や「地域の課題」の抽出から「地域の目指す方向」の検討を行い、「将来像」としてまとめ、ワークショップの提言事項などを地域別構想の策定につなげました。